

# NBRP「地球規模生物多様性情報機構 (GBIF)」

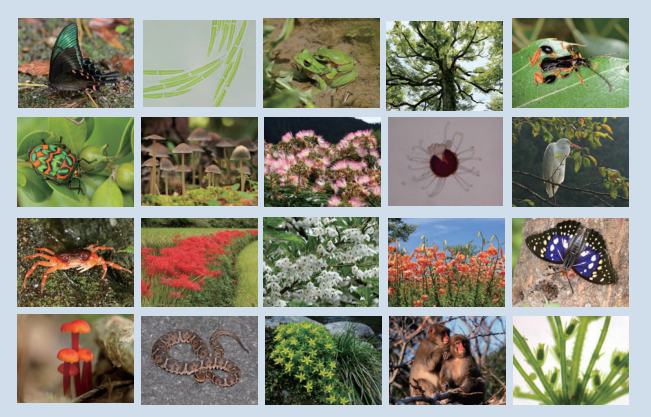
## ：生物多様性情報利活用のプラットフォーム

神保 宇嗣<sup>\*1</sup>・細矢 剛<sup>\*1</sup>・水沼 登志恵<sup>\*1</sup>・海老原 淳<sup>\*1</sup>・中江 雅典<sup>\*1</sup>  
 倉田 正観<sup>\*2</sup>・土畑 重人<sup>\*2</sup>・伊藤 元己<sup>\*2</sup>・木村 紀子<sup>\*3</sup>・川本 祥子<sup>\*3</sup>  
<sup>\*1</sup>: 国立科博, <sup>\*2</sup>: 東京大・院・総合文化, <sup>\*3</sup>: 遺伝研



### 1. 生物多様性情報とは？

- おもに種の多様性に関する情報
- ・分類群名情報(種名、上位分類群名・・・)
- ・分布情報(個体の在/不在情報)
- ・種情報(形態、分布域、種間相互作用・・・)
- ...



生物多様性理解の入口

### 2. GBIFとは？

**Global Biodiversity Information Facility**  
**地球規模生物多様性情報機構**  
 (<https://www.gbif.org/>)

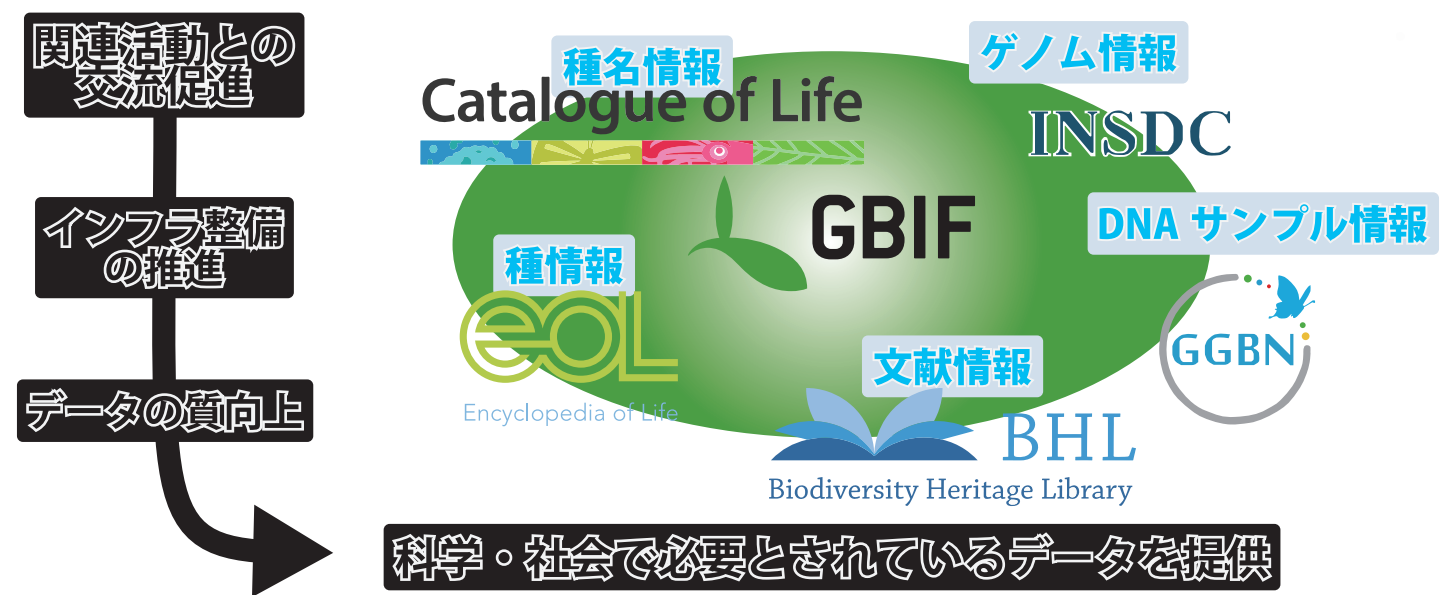
- ・誰もが生物多様性情報を利用可能になるインフラ構築を目的とするプラットフォーム
- ・Darwin Core (生物多様性情報の標準項目) で統一したデータを用意し、横断利用に配慮

1,902,008,297件の生物分布データの検索とダウンロードが可能(緯度経度付き生物分布データは、1,773,127,691件)  
<https://www.gbif.org/occurrence/map>

### GBIFを使うと・・・

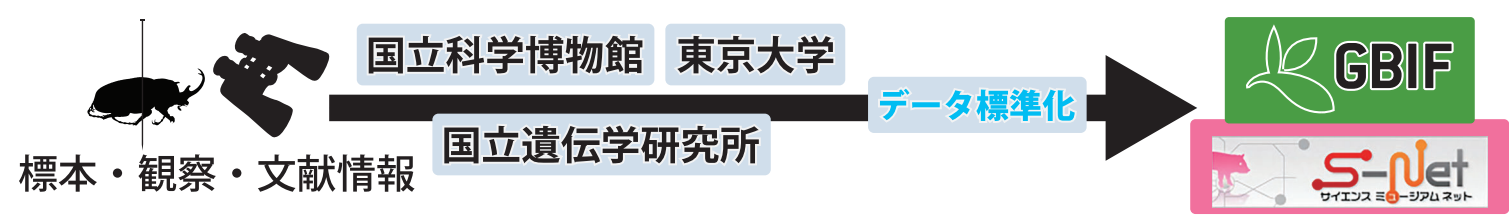
- ▶ 分布情報：いつ・どこで・どの種が確認されたかの情報が得られる。
- ▶ 標本情報：標本がどの博物館等に所蔵されているかに関する情報が得られる。
- ▶ オープン：19億以上のデータ、その多くをオープンデータとして得られる。

### GBIFの目指すところ (2017-2021の戦略)



### 3. 日本生物多様性イニシアチブ (JBIF) ※旧GBIF日本ノード (Japan Initiative for Biodiversity Information)

#### 在データの集積と GBIF への発信



#### ポータルサイトによる情報提供



- ・和名によるGBIFデータ検索
- ・生物多様性情報関係の研究会・イベント情報の掲載
- ・ガイド・マニュアル(英語版/翻訳版)の掲載
- ・データ形式・データ登録方法などの情報掲載

<https://www.gbif.jp/v2/>

#### GBIFポータルサイトの日本語化



### 4. サイエンスミュージアムネット (S-Net)

#### 国内博物館の標本資料情報を発信



- ・660万件の自然史標本資料の公開とGBIFへの提供
- ・研究員・学芸員情報の検索
- ・データ変換・登録支援ツール、コレクション情報の提供

<http://science-net.kahaku.go.jp/>

**NBRP 機関の皆様へのお願い**  
 リソース採集地データをご提供いただける場合  
<https://www.gbif.jp/v2/regist/index.html> のメールアドレスからご連絡ください。

